

在スロバキア日本国大使館
政治・経済月報（2020年7月）

目 次

新型コロナウイルス

◆7月31日現在の感染者情報	2
◆英国の検疫免除対象国への追加等	2
◆新規感染者の内訳	2
◆ワクチンに関するクライチー保健相の発言	2

内 政

◆コラル国会議長の修士論文剽窃問題	3
◆マトヴィチ首相の修士論文剽窃問題	3
◆政党支持率調査結果	4

外 政

◆特別欧州理事会における欧州復興基金及び次期多年度財政枠組み（MFF）の合意	4
--	---

経 済

◆5月の鉱工業生産	5
◆社会政策パッケージの政府承認	6
◆6月の失業率	6
◆財政赤字及び政府債務予測	6
◆スロバキア国立銀行による最新予測	6

別添：主要経済指標

※本月報は公開情報を在スロバキア日本国大使館がとりまとめたものです。

新型コロナウイルス

◆7月31日現在の感染者情報

- (1) 累積感染者数2337名（前日比+45名。31日の検査数は2884件。同日までの累積検査数は26万4446件）
- (2) 同死者数29名（前日比+0名）
- (3) 同治癒者数1742名（前日比+47名）

◆英国の検疫免除対象国への追加等

【スロバキアによる英国の検疫免除対象国への追加（17日付公衆衛生局プレスリリース及び20日付交通・建設省プレスリリース）】

(1) 7月20日午前7時より、英国が検疫免除対象に指定された。これにより、スロバキアへの入国者に対する検疫免除対象は計33か国・地域となった。

(2) 7月20日午前7時より、英国とスロバキアを結ぶ民間機が離着陸禁止措置の例外とされた。

【英国によるスロバキアの検疫免除対象国への追加（24日付外務・欧州問題省プレスリリース）】

24日、モートン英欧州担当相は、コルチョク外務・欧州問題相と電話会談を行い、英国が28日よりスロバキアからの入国者を検疫免除対象とする旨確約した。イングランドの他、スコットランド、ウェールズ及び北アイルランドも、28日よりスロバキアからの入国者を検疫免除対象とする見込みである。

◆新規感染者の内訳（24日付公衆衛生局プレスリリース）

6月29日～7月21日の新規感染者数は計397名であり、そのうち249名（63%）が無症状者である。また、178名（44.8%）が国外からの帰国者・入国者（ウクライナ43名、セルビア37名、チェコ36名、英国14名、米国4名、北マケドニア4名、ハンガリー4名、ドイツ4名等）であった。

◆ワクチンに関するクライチー保健相の発言（24日付スメ紙電子版）

24日、クライチー保健相は、現在開発中の新型コロナワクチン調達に関する欧州委員会の協議にスロバキアが参加している旨述べるとともに、スロバキアが300万本のワクチン購入を希望している旨明らかにした。また、クライチー保健相は、スロバキアにおいては新型コロナワクチンの接種を義務化しない旨付言した。

内 政

◆コラール国会議長の修士論文剽窃問題（6月24日付スメ紙、同月27日付スメ紙、7月8日付スメ紙）

6月23日、ベブラヴィー前「共に（Spolu）」党首は、コラール国会議長（連立与党第2党「我々は家族（Sme rodina）」代表）の修士論文剽窃疑惑を指摘した。コラール議長は、2015年にスカリツァ中欧大学で修士号を取得していたが、Dennik N紙によると、コラール議長の修士論文の52%が、他の著作物からの無断引用であった。

6月26日、コラール国会議長は記者会見を開き、今後の政治活動で修士号を用いない旨述べつつ、「国会議長を辞任するつもりはないし、謝罪する必要もない」旨述べた。マトヴィチ首相は、連立与党の安定性を維持するため、コラール国会議長の辞任は求めない旨述べた一方で、連立与党第3党「自由と連帯（SaS）」及び同第4党「人々のために（Za ludi）」は、コラール国会議長は辞任すべきであるとの見解を示した。

7月7日、コラール国会議長は、自身に対する不信任決議案を国会に提出するとともに、「仮に同決議案が可決される場合、Sme rodinaは連立政権から離脱する」と述べた。シェリガZa ludi副党首は、「コラール議長自身による不信任決議案の提出は、連立政権に対する脅しである」と批判しつつ、「4党による連立政権は今後も続くであろう」と述べた。

同日、国会で同決議案の採決が行われたが、賛成したのは僅か5名であり、同決議案は否決された。SaS、Za ludiの他、野党「方向-社会民主主義（Smer-SD）」及び無所属議員が投票を棄権した。

◆マトヴィチ首相の修士論文剽窃問題（17日付 Dennik N 紙、23日付スメ紙、24日付スメ紙電子版）

16日、Dennik N紙は、マトヴィチ首相が修士論文を執筆した際に、冒頭と結論部分以外を2冊の学術書から剽窃していたことを確認した。1998年、マトヴィチ首相は、コメニウス大学経営学部において、税制及び企業に対する税制の影響についての修士論文を提出した。同日、マトヴィチ首相は、「国会総選挙前の約束を果たすまでは辞任しない」旨表明し、首相を続ける意向を示した。

22日、マトヴィチ首相は記者会見を開き、Dennik N紙の記者が同首相の剽窃を確認したことについて疑問を呈するとともに、これまで自身の剽窃問題について気がつかなかった旨述べた。マトヴィチ首相は自身の修士論文の電子媒体の公開を拒否しているため、剽窃検査器を用いた調査を行うことができていない。マトヴィチ首相の修士論文は、大学図書館でのみ閲覧可能である。

23日、野党「方向-社会民主主義（Smer-SD）」等は、修士論文剽窃問題が浮上したマトヴィチ首相に対する不信任決議案を提出した。同決議案に関する審議は、23日から24日早朝まで、休憩を挟み約19時間続いた。

24日早朝、マトヴィチ首相に対する不信任決議案の採決が行われ、出席議員125名中、賛成47名、反対78名で否決された（定数150名）。出席議員のうち、野党及び無所属議員全員が同決議案に賛成し、与党議員全員が反対した。

マトヴィチ首相は、「不信任決議案が否決されたことにより、修士論文に関する問題は解決された」と述べ、同決議案に反対した与党議員に対して謝意を表明した。連立与党第4党「人々のために（Za ludi）」は、マトヴィチ首相の論文剽窃は問題である旨指摘しつつ、「政権を崩壊させようとする野党の試みに賛同することはできない」とコメントした。

◆政党支持率調査結果（21日）

世論調査機関AKOによる、政党支持率調査の結果は以下のとおり（括弧内は支持率に基づいた議席数）。修士論文剽窃問題が発覚したコラル国会議長のSme rodinaは支持率が下落した。同調査は、マトヴィチ首相（OLaNO代表）の修士論文剽窃問題が明るみになる前に行われた。

政党	AKO	2020年選挙
OLaNO（普通の人々・独立した人達）	23.5%(44)	25.02%
Hlas-SD（声-社会民主主義）	16.7%(31)	—
Smer-SD（方向-社会民主主義）	10.7%(20)	18.29%
SaS（自由と連帯）	9.4%(18)	6.22%
LSNS（我々のスロバキア）	7.9%(15)	7.97%
Sme rodina（我々は家族）	6.4%(12)	8.24%
PS（プログレッシブ・スロバキア）	5.2%(10)	※6.96%
Za ludi（人々のために）	4.0% (-)	5.77%

※PS/Spoluとしての得票率。PSは、2020年国会総選挙にSpolu(共に)と政党連合を形成して参加した。

外 政

◆特別欧州理事会における欧州復興基金及び次期多年度財政枠組み（MFF）の合意

【首相府プレスリリース（21日付）】

EU各国首脳は、17日から21日にかけてブリュッセルで行われた特別欧州理事会において、7500億ユーロの欧州復興基金を創設するとともに、次

期多年度財政枠組み（MFF。2021～2027年のEU予算）で1兆740億ユーロの財政規模を確保する旨合意した。欧州復興基金については、3900億ユーロが贈与として、3600億ユーロが融資としてEU各国に配分される。

21日、マトヴィチ首相は、特別欧州理事会からの帰国後に記者会見を開き、「スロバキアは、2021年から2027年にかけて、低金利の融資も含めると、EUから400億ユーロ以上（年平均で60億ユーロ以上）を受け取ることができる」と述べた。

マトヴィチ首相によると、スロバキアが2021年以降に受給可能な金額は以下のとおり。

- (1) 現行のMFF（2014～2020年）の未使用分：80億ユーロ
- (2) 欧州復興基金（2021～2023年）：75億ユーロ
- (3) 次期MFF（2021～2027年）：186億ユーロ
- (4) 欧州復興基金（融資）：68億ユーロ
- (5) EU独自の共通財源（予定）：29億ユーロ

【投資・地域発展・IT化省プレスリリース（21日付）】

レミショヴァー投資・地域発展・IT化相は、特別欧州理事会の結果に満足している旨述べるとともに、「スロバキアは、（EUへの拠出金（年間約9億ユーロ）を差し引くと）次期MFFより総額約130億ユーロを受け取ることができる。次期MFFのスロバキアの人口あたりの純受取額は2354ユーロであり、エストニアとラトビアに次いでEUで3番目に多い。他のV4諸国の純受取額は、チェコが1971ユーロ、ポーランドが1932ユーロ、ハンガリーは2290ユーロである」と説明した。

レミショヴァー投資・地域発展・IT化相は、インフラ整備等に活用される結束基金が削減されなかったことは良いニュースである」と述べるとともに、「スロバキアは、イノベーション、デジタル化及びより良い行政サービスのために投資を行うべきである」と強調した。

経 済

◆5月の鉱工業生産（15日付Symsite）

欧州統計局によると、5月のスロバキアの鉱工業生産は、前年同期比で33.5%下落し、EU内で最大の下落率を記録した。EU平均は20.9%である。スロバキアの下落率が高い理由として、スロバキアが自動車製造業に依存していること等が挙げられている。

◆社会政策パッケージの政府承認（16日付プラウダ紙）

15日、マトヴィチ首相は、政府によって承認された5億ユーロ規模の社会政策パッケージを発表した。主な施策は以下のとおり。

（1）2020年11月より導入

ア 年金生活者が受給している年金額に応じて、50～300ユーロの年金ボーナスを支給（年金受給額が低い者ほど、年金ボーナスが高くなる）。

（2）2021年1月より導入

ア 幼稚園及び初等学校の給食無償化を撤廃する代わりに、15歳未満の子供に対する税金ボーナス（税控除額）を2倍（月額22.72ユーロから45.44ユーロ）に引き上げる。

イ 妊娠4か月以上の女性に月額200ユーロの手当を支給。

ウ 学生、年金生活者及び障害者に対する鉄道、バス、市内公共交通機関（トラム及びバス）の無償化（従来は鉄道のみ無償）。

エ 6歳未満の子供、年金生活者及び障害者に対する医薬品の自己負担額を撤廃。

◆6月の失業率（21日付プラウダ紙）

労働局によると、6月の失業率（登録ベース）は7.4%であり、前月比で0.2%の上昇に留まった（前年同期比では2.4%上昇）。6月の就職者数は1万3986名であり、前月の就職者数（9665名）及び昨年6月の就職者数（1万2973名）をそれぞれ上回った。

◆財政赤字及び政府債務予測（22日付経済新聞）

財務省によると、2020年の財政赤字（単年）はGDP比11.6%（前年は1.3%）、政府債務（残高）は同65%（前年は48%）に達する見通しである。スロバキアの政府債務が、EUの財政基準（同60%）を上回るのは初めてのことである。

専門家は、政府債務増加の理由として、パンデミックによる影響及び新政権による社会政策パッケージを挙げるとともに、前政権が政府債務を積み残したことも指摘している。

◆スロバキア国立銀行による最新予測（30日付SITA通信）

スロバキア国立銀行（NBS）による2020年の主要経済指標予測は以下のとおり（増減の表記があるものは全て前年比）。

	2020年	2021年
GDP :	8.6%減少	6.7%増加

雇用率：	2. 8%減少	1. 1%上昇
失業率：	8. 6%	8. 1%
物価上昇率：	2. 0%上昇	1. 3%上昇
名目賃金上昇率：	1. 7%上昇	3. 6%上昇

(了)

スロバキア主要経済指標

(出典:スロバキア統計局)

